

北九州港と北九州空港における国際物流拠点化

1 背景

- 日本を代表する産業都市として発展してきた本市には、鉄鋼や化学などの素材産業、金属や機械などの加工組立産業を中心にものづくり産業が集積している。また、九州・西中国には、自動車関連産業や半導体関連産業が集積している。
- これらの企業は、近年のグローバル化の進展に伴い、国境を越えた国際分業体制を構築し、広域化・複雑化したサプライチェーンマネジメントを展開している。
- このため、各企業では、海路・空路の輸送手段を組み合わせ、用途に応じてコストとスピードを最適なバランスにすることによって、生産工程全体のコストを削減することが重要となっている。

2 取組の方向性

- 北九州港への国際コンテナ航路の寄港と北九州空港への国際貨物便の就航を維持・拡大することにより、企業の立地環境を向上させ、本市経済の国際競争力を強化することを目的とする。
- 本市をはじめ九州・西中国に立地し、グローバルに展開する企業のサプライチェーンマネジメントに資する多方面・多頻度の物流サービスの充実を目指す。
- 航路誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進することにより、貨物の増加を図り、また貨物の増加がこれらの取組を加速させる好循環サイクルの構築を図る。



北九州港と北九州空港の物流拠点化を実現

3 今後の取組み(案)

北九州港(太刀浦コンテナターミナル)

- 航路誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
 - 新規船社の誘致
 - ガントリークレーン等の更新
 - 蔵置能力の向上
 - デジタル物流システムの拡充

北九州港(ひびきコンテナターミナル)

- 航路誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
 - 新規船社の誘致
 - 製造業物流事業者の誘致
 - 耐震強化岸壁の整備

北九州空港

- 路線誘致、集貨、創貨、機能強化の取組を推進
 - エアライン誘致
 - 輸出入通関機能の強化
 - 特殊大型貨物航空会社の誘致
 - 滑走路の3000m化
 - 貨物上屋の拡充

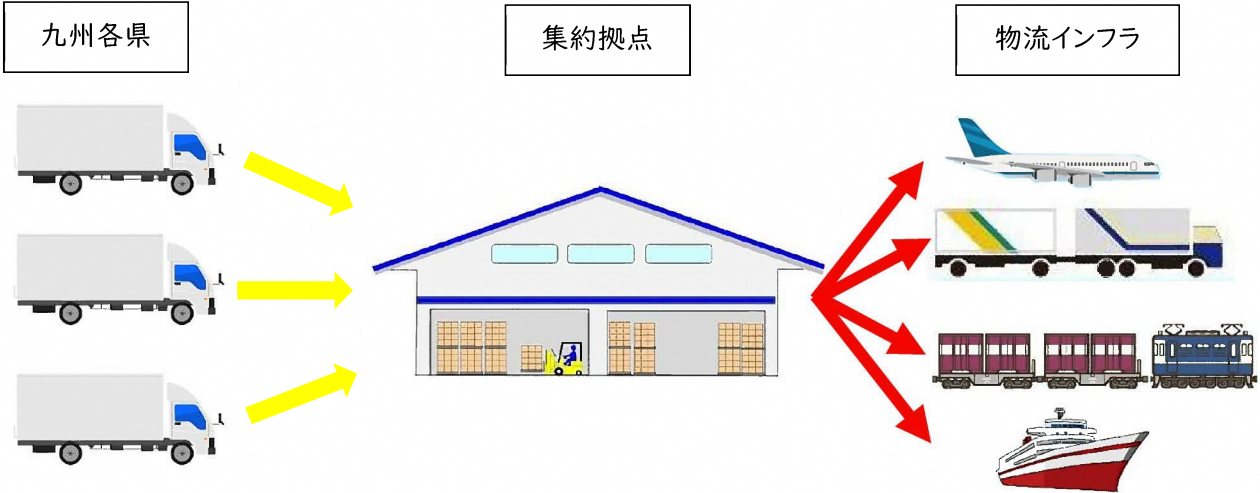
九州エリアの物流集約拠点の形成
～九州の荷物を北九州市から全国・海外へ～

1 背景

- 国内貨物輸送量は、長期的には、減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。EC市場は、2018年には全体で約18兆円規模。物販系分野では9.3兆円まで拡大しており、今後も成長が見込まれる。EC市場の拡大に伴い、宅配便の取扱い件数も増加傾向である。
- 九州は、自動車産業をはじめとする製造業が多く立地しており、自動車関連部品、工業製品、化学工業品などが発送されている。
- 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、トラックドライバー不足が顕在化しており、今後、更に進展していくことが予想されている。
- トラックドライバーの時間外勤務の上限規制が適用（2024年）されることから、トラックによる長距離輸送が困難となり、配送計画の見直しが必要となってくる。
- 九州向けの荷物は、日用品、食料品等を取り扱うマルチテナント等が大消費地近郊である福岡市、鳥栖市に立地しており、その拠点から九州各県へ配送されている。
- 九州から首都圏、関西圏等本州向けへの陸上輸送（九州発荷物）は、九州各県から各々輸送されている。今後、トラックドライバーの不足により、安定した輸送に影響が出ると見込まれている。

2 取組の方向性

- 九州と本州の結節点である本市に、九州発荷物（EC、食品、農産品等）の集約拠点を整備し、荷物を大ロット化することで効率的に、首都圏、関西圏、海外へ輸送を行う。
- コスト・リードタイム等に応じ、陸海空の適切な輸送モードで大ロット輸送（効率的な輸送）を行う。



3 今後の取組み(案)

- 民間事業者による物流施設の開発促進
 - 民間活力の導入による物流施設の立地を促進
 - 高速道路の IC 周辺等の交通アクセス性の高いエリア（物流施設集積エリア）に物流施設の立地を促進
 - 物流拠点推進室が窓口となり、手続き関連部局（市、国、県）との連絡調整を実施し、民間開発を支援
- 物流事業者等の物流施設誘致
 - 物流事業者等に対して、本市への物流施設立地へ向けた誘致活動を実施
- 物流施設の高度利用・機能強化への取組
 - 本市に立地する物流事業者等の施設の高度利用・機能強化の取組を支援
- モーダルシフト促進
 - 国の補助メニュー（物流総合効率化法）の活用支援
 - 陸上輸送からフェリー輸送、鉄道輸送へのモーダルシフトを促進
- 拠点化実証プロジェクトの実施
 - 集約拠点化の取組として、民間における九州の発貨物を本市に集積させる取組を支援
- 車両大型化に伴う特車申請手続きの円滑化
 - 車両大型化に伴う特車申請手続きの円滑化を図るため、国等への働きかけを実施